

# 北海道浮魚ニュース

平成 29 (2017) 年度 8 号

2017 年 7 月 3 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎日本海・太平洋スルメイカ漁場一斉調査結果

6 月 21 日～ 29 日の期間、北海道渡島大島周辺から瀬棚沖にかけての日本海、及び恵山沖の道南太平洋で、函館水産試験場調査船金星丸 (151 トン、イカ釣機 5 台、集魚灯 20 灯装備) により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・日本海のスルメイカ分布密度は昨年及び過去 5 年平均を下回った。
- ・日本海の魚体サイズは昨年及び過去 5 年平均より小さい。
- ・恵山沖太平洋でスルメイカの来遊がみられた。

### 1. 水温分布 (図 1)

日本海漁獲調査点 7 点の表面水温は 13.1～17.6℃ (昨年 14.1～19.7℃)、水深 50 m の水温は 4.2～12.5℃ (昨年 4.1～12.8℃) でした。

スルメイカの分布の目安となる水深 50m 層の水温は、10℃を超える比較的水温の高い海域が昨年に比べ沖合まで広くみられ、岸近くと沖合との温度差は昨年よりも小さくなっていました。

道南太平洋・恵山沖 St.14 の水温は表面が 15.4℃、水深 50 m が 9.0℃でした。

### 2. 日本海スルメイカの分布密度 (図 1、表 1)

漁獲調査点 7 点の CPUE (2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)

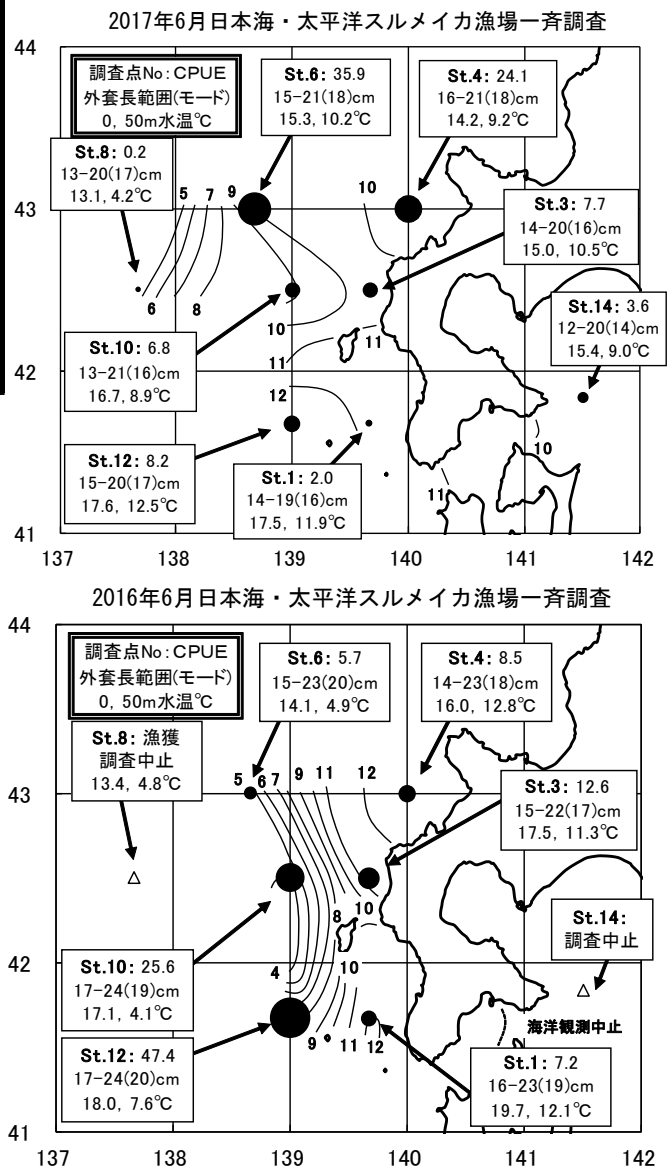


図 1 調査結果 (上 : 2017 年、下 : 2016 年)。  
●は漁獲調査点で大きさは CPUE を示す。△は漁獲調査中止。等温線は水深 50m の水温 (℃)

表 1 2012年～2017年の6月漁場一斉調査での、日本海7調査点の地点別CPUE（尾/1台1時間）及び過去5年平均。

調査点	北緯	東経	概要	2012	2013	2014	2015	2016	2017	過去5年
St. 1	41-40	139-40	上ノ国沖	3.4	30.2	27.0	4.7	7.2	2.0	14.5
St. 3	42-30	139-40	瀬棚沿岸	196.7	44.4	84.8	20.8	12.6	7.7	71.9
St. 4	43-00	140-00	島牧北方	54.1	4.3	45.1	--	8.5	24.1	28.0
St. 6	43-00	138-40	積丹半島西方沖	5.6	4.2	70.1	--	5.7	35.9	21.4
St. 8	42-30	137-40	檜山西方沖	--	5.0	18.1	--	--	0.2	11.6
St. 10	42-30	139-00	奥尻島北西沖	23.2	4.4	84.9	--	25.6	6.8	34.5
St. 12	41-40	139-00	渡島大島西方	12.2	6.6	15.1	16.9	47.4	8.2	19.6
平均CPUE				49.2	14.2	49.3	14.1	17.8	12.1	28.8

の平均は 12.1 で、過去5年の平均（28.8）及び昨年（17.8）をいずれも下回りました。各調査点の CPUE は 0.2 ～ 35.9（昨年 5.7 ～ 47.4）の範囲にあり、北緯 43 度付近の沖合に分布密度が高い海域がみられました。

### 3. 日本海スルメイカの大きさ（図1、図2）

日本海側7調査点のスルメイカ外套長（胴長）の範囲は 13 ～ 21cm（昨年 14 ～ 24cm）でした。最も多く出現したイカの大きさ（モード）は 18cm（昨年 19cm）で、海域全体の魚体の大きさは昨年及び過去5年平均より小型でした。各調査点のモードの範囲は 16 ～ 18cm（昨年 17 ～ 20cm）にありました。

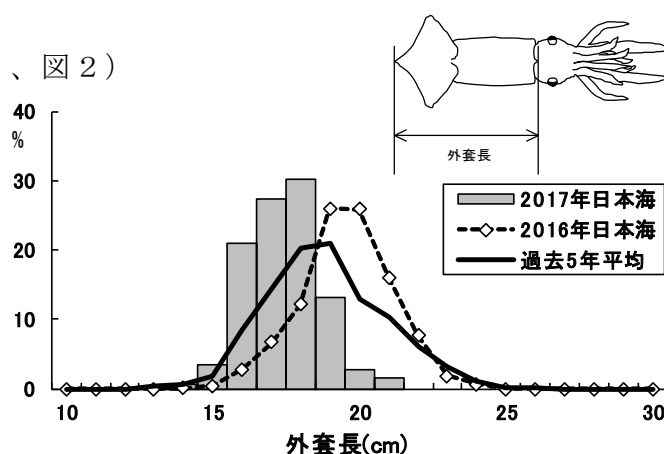


図2 日本海スルメイカの外套長組成

### 4. 太平洋スルメイカ（図1、図3）

道南太平洋へのスルメイカ来遊状況を調べるため、6月28日に恵山沖 St.14 で漁獲調査を行いました。CPUE は 3.6 で、この海域にはすでにスルメイカが来遊していると考えられます。外套長のモードは 14cm で、魚体サイズは日本海側に比べ小型でした。

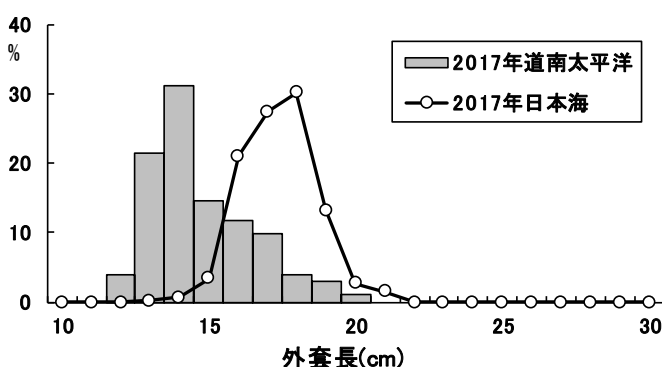


図3 道南太平洋スルメイカの外套長組成

#### 4. 標識放流 (図4)

調査期間中、日本海の5調査点で合計 2,380 尾の標識放流を行いました。放流したイカはヒレの付け根部分に、表面にアルファベットと2桁の番号、裏面に「JPN」の文字が記された黄色のタグが打たれています。現在、同じ標識を用いた放流が函館水試のほか国及び他府県の機関でも実施されています。標識のついたスルメイカを発見された方は最寄りの水産試験場まで連絡いただきますよう、よろしくお願いします。

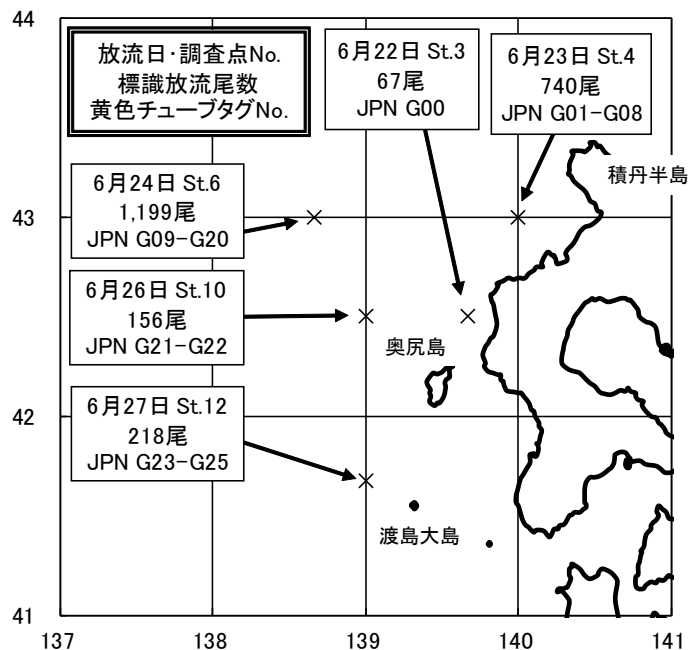


図4 標識放流の位置・放流日・尾数及び標識番号

(函館水産試験場調査研究部 TEL : 0138-83-2893、FAX : 0138-83-2849)